



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <https://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,357	△12.6	121	△92.4	53	△96.7	269	△69.5
2025年3月期第1四半期	8,418	6.6	1,607	122.9	1,617	94.6	882	297.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 277百万円 (△80.3%) 2025年3月期第1四半期 1,406百万円 (216.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	10.71	—
2025年3月期第1四半期	35.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	71,942	35,393	49.2	1,408.29
2025年3月期	74,903	36,875	49.2	1,467.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 35,393百万円 2025年3月期 36,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	70.00	76.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	3.00	—	4.25	7.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,286	△2.5	△122	—	△205	—	△220	—	△8.75
通期	32,424	2.1	870	△76.2	678	△82.3	607	△87.9	24.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	26,072,960株	2025年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	940,602株	2025年3月期	940,532株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	25,132,360株	2025年3月期1Q	25,098,467株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の下落や為替の影響等により、売上高は前年同期比1,060百万円減収(△12.6%)の7,357百万円、営業利益は前年同期比1,485百万円減益(△92.4%)の121百万円、経常利益は前年同期比1,563百万円減益(△96.7%)の53百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比613百万円減益(△69.5%)の269百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、前年同期においては、パナマ運河の通航制限や中東情勢の緊迫化等を背景に高水準で推移しておりましたが、当第1四半期にはパナマ運河の通航制限が段階的に緩和され一巡したことに加え、国際的な通商環境の不透明感や心理的要因の影響もあり、前年同期に比して軟調な市況が続く結果となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの平均為替レートは¥145.20/対US\$ (前年同期は¥153.99) となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比982百万円減収(△15.7%)の5,279百万円、セグメント損益は前年同期比1,502百万円減益の251百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期をやや下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、普通倉庫における取扱高の増加や連結子会社の引越業における取扱高が増加したことにより、売上高は前年同期比16百万円増収(+1.5%)の1,087百万円、セグメント利益は前年同期比9百万円増益(+8.4%)の121百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、市場全体では堅調に推移しておりますが、都心湾岸部においては、相次ぐ再開発によって供給過剰の傾向が見られます。一方、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアは都心および駅からのアクセスに優れた好立地に位置しており、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、中期経営計画に掲げるプラザ勝どき(1987年12月竣工)の再開発計画に伴い、2025年3月にプラザ勝どきを閉館したことにより、売上高は前年同期比93百万円減収(△8.7%)の990百万円、セグメント利益は前年同期比35百万円減益(△6.7%)の495百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比2,961百万円減の71,942百万円となりました。負債は、営業未払金の減少等により前連結会計年度末比1,479百万円減の36,548百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比1,481百万円減の35,393百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同水準の49.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3,870百万円減少し、14,782百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として使用した資金は、478百万円（前年同期は2,418百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、減価償却費913百万円、仕入債務の減少額1,052百万円、法人税等の支払額471百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、2,233百万円（前年同期比214.1%増）となりました。これは主として、固定資産の取得による支出1,732百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、954百万円（前年同期比711.5%増）となりました。これは主として、長期借入れによる収入934百万円、長期借入金の返済による支出353百万円、配当金の支払額1,534百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2026年3月期）の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	第2～4四半期前提 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	145.20	147.00
燃料油価格 (米ドル/MT)	545.42	559.41

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,001	15,151
営業未収金及び契約資産	1,497	1,236
繰延及び前払費用	723	603
貯蔵品	1,268	1,442
その他	2,019	2,346
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,511	20,780
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	23,316	22,583
建物及び構築物（純額）	8,358	8,274
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,165	3,130
信託土地	204	204
建設仮勘定	6,590	8,111
その他（純額）	548	550
有形固定資産合計	43,317	43,988
無形固定資産	87	79
投資その他の資産		
投資有価証券	5,192	5,338
長期貸付金	1,119	1,094
その他	683	669
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,987	7,093
固定資産合計	50,392	51,161
資産合計	74,903	71,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,440	1,376
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	5,713	5,627
未払法人税等	419	9
契約負債	282	140
賞与引当金	97	30
その他	666	683
流動負債合計	12,328	10,578
固定負債		
長期借入金	21,724	22,101
繰延税金負債	728	558
退職給付に係る負債	76	77
受入保証金	1,342	1,335
特別修繕引当金	603	675
その他	1,222	1,221
固定負債合計	25,699	25,970
負債合計	38,028	36,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,674	11,674
利益剰余金	21,351	19,861
自己株式	△919	△920
株主資本合計	34,873	33,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,943	2,012
繰延ヘッジ損益	58	△2
その他の包括利益累計額合計	2,001	2,010
純資産合計	36,875	35,393
負債純資産合計	74,903	71,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,418	7,357
売上原価	6,397	6,859
売上総利益	2,020	498
販売費及び一般管理費	413	377
営業利益	1,607	121
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	64	73
為替差益	50	54
その他	8	9
営業外収益合計	134	147
営業外費用		
支払利息	95	169
雑損失	7	45
その他	21	—
営業外費用合計	124	214
経常利益	1,617	53
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,617	53
法人税、住民税及び事業税	712	4
法人税等調整額	22	△220
法人税等合計	734	△215
四半期純利益	882	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	882	269

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	882	269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	354	68
繰延ヘッジ損益	169	△60
その他の包括利益合計	523	8
四半期包括利益	1,406	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,406	277
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,617	53
減価償却費	783	913
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70	△66
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	74	71
受取利息及び受取配当金	△75	△83
支払利息	95	169
為替差損益 (△は益)	80	△49
売上債権の増減額 (△は増加)	299	369
契約資産の増減額 (△は増加)	△227	△107
繰延及び前払費用の増減額 (△は増加)	△41	136
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△172	△174
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98	△1,052
契約負債の増減額 (△は減少)	107	△141
未払費用の増減額 (△は減少)	30	7
未払又は未収消費税等の増減額	△28	22
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	39	△7
その他	52	75
小計	2,468	136
利息及び配当金の受取額	64	73
利息の支払額	△94	△216
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△18	△471
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,418	△478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△710	△1,732
有価証券の取得による支出	—	△500
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711	△2,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,620	934
長期借入金の返済による支出	△2,495	△353
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△240	△1,534
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117	△954
現金及び現金同等物に係る換算差額	312	△205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,902	△3,870
現金及び現金同等物の期首残高	13,980	18,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,882	14,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	6,262	1,071	1,084	8,418	—	8,418
セグメント間の売上高又は振替高	—	0	7	7	△7	—
計	6,262	1,071	1,092	8,426	△7	8,418
セグメント利益	1,250	112	531	1,894	△287	1,607

(注) 1. セグメント利益の調整額△287百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△287百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	5,279	1,087	990	7,357	—	7,357
セグメント間の売上高又は振替高	—	2	7	9	△9	—
計	5,279	1,090	998	7,367	△9	7,357
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△251	121	495	365	△244	121

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△244百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△244百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。